

第35回

全国造園デザインコンクール入選18作品・審査講評紹介

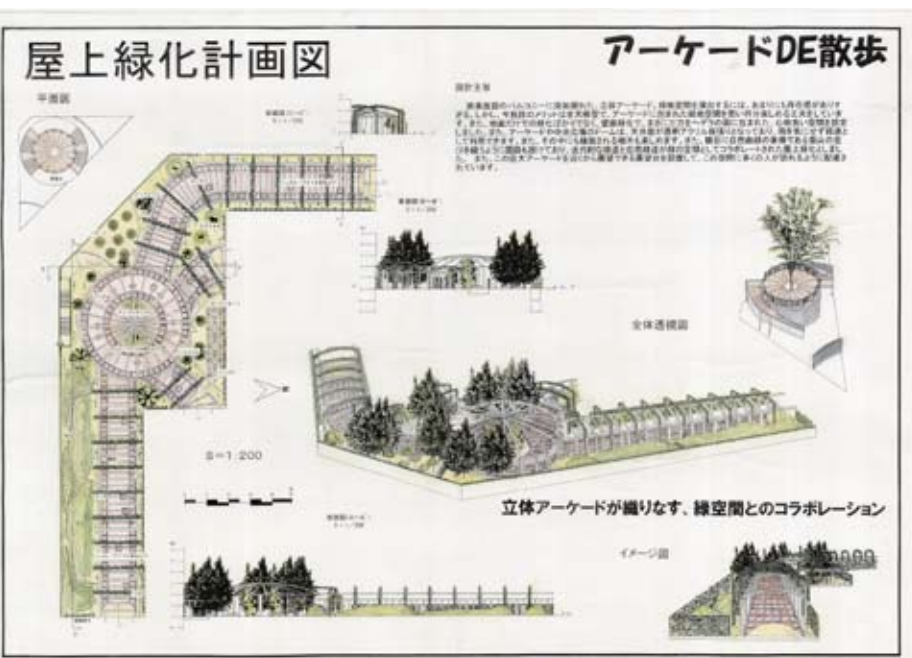
■藤井英二郎委員長(千葉大学園芸学部教授)
第35回全国造園デザインコンクールの応募数は349点で、前回に比べて110点余り減り、そのほとんどは高校からの応募数の減少でした。一方、一般の部の応募は着実に増加してきており、応募者が多様化してきています。コンクールを主催されている社団法人日本造園建設業協会と応募者の7割を占める全国高等学校造園教育研究協議会のご努力と熱意に深く敬意を表します。

さて、今回表彰された方々のデザインは日本の住宅や街区公園、屋上緑化、校庭などが抱える課題に応えるもので、設計のコンセプトや全体のデザインが優れ、そして実習作品では課題にみんまで共同して取り組んだ成果がよく現れていて、いずれも高く評価できるものでした。応募デザイン全体を見ての課題としては、明確な理念や具体性に欠けた街区公園計画が多くあったことです。楽しい出や街の風景となっている公園が少ないためかと思えます。公園は成熟した都市のバロメーターで

す。既にある公園をお年寄りや子供たちが楽しく使うことが、公園に笑い声を生み、夢のあるデザインを生み出す源になるはずだ。また、毎年このことですが、応募要領にのっとっていない作品も見受けられました。今年、高校の先生方の御指導いただく先生方には、このことに御注意いただきたいと思えます。

また、毎年のことですが、教員のご努力が拝察されるところです。また、エコや食糧等社会的問題を表現したのも高く評価されています。国土交通大臣賞を受賞された滋賀県立八日市南高校の村居忠司さんの作品は、現在の大きな課題である屋上緑化にさらに立体的な空間デザインを盛り込むアイデアに加え、作図、表現などを含めて多くの委員から総合的に高い評価を受けました。

なお、全般的な課題としては、住宅庭園で生垣を用いず堅い塀でクロースな空間としているものが多いことが気になりました。造園の視点としては、中からだけでなく、外からの見え方



国土交通大臣賞 村居忠司 滋賀県立八日市南高等学校(高校生の部・公共的空間部門)



(社)日本造園学会賞 中島里彩 滋賀県立八日市南高等学校(高校生の部・住宅庭園部門)



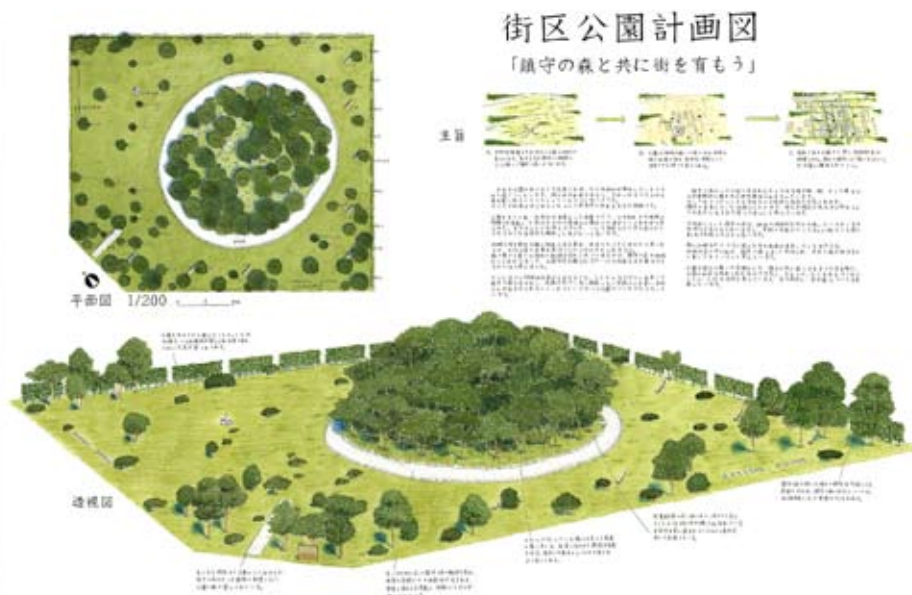
(社)日本造園建設業協会賞 一二三徹也 広島県立庄原実業高等学校(実習作品部門)



全国高等学校造園教育研究協議会長賞 小澤智記 埼玉県立児玉白楊高等学校(実習作品部門)



全国高等学校造園教育研究協議会長賞 小林彩実 長野県須坂園芸高等学校(高校生の部・住宅庭園部門)



(社)ランドスケープコンサルタンツ協会賞 大櫃史生 風景計画設計事務所(一般の部・街区公園部門)



受賞者と関係者らで記念撮影

彩さん」の作品を選ばせて戴きました。この作品は、現存すると仮定したタイサンボクの巨木を保全し、その存在を日常の活動に取り入れつつ、楽しさや冒険心等の具現化を中心にデザインされたものです。周知の通り、このような樹木は、緑視域の形成などの景観面はもとより環境保全や生物多様性等の面において、多大な効用がある反面、日照や落葉等に関する課題もあります。今後、本作品の発想を実現するための維持管理等に係わる新たな技術面への展開も期待したいと思っています。

のより一層の配慮が望まれるところ。今後とも、豊かな発想のもとに、良質なランドスケープの創造を目指した各種の技術的提案を伴う多数の応募を期待しています。

作品の制作にあたっては、デザインコンセプトをしっかりと定め、その具現化には何を用い、組み合わせるかを充分検討してください。日常の生活の中にアイデアの基は沢山あると思います。

高校生の部では、基礎基本に沿ったものが多く、本に見やすい作品でした。が、一般・大学生と比較すると、パターン化しており、独創性に富んだものが少なかったように感じられます。今の流行や課題を盛り込んだ作品を考えてみましょう。CAD図面については、仕上がりがかなりよくなっています。細部にまで気を配って仕上げてみましょう。

残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。



残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

一般の部では、まだまだ応募点数が少ない状況ですが、今回は「街区公園部門」でプランの独創性と表現力を高く評価され、大槪史生さんの作品がランドスケープコンサルタンツ協会賞を受賞されました。

一般の部では、まだまだ応募点数が少ない状況ですが、今回は「街区公園部門」でプランの独創性と表現力を高く評価され、大槪史生さんの作品がランドスケープコンサルタンツ協会賞を受賞されました。

一般の部では、まだまだ応募点数が少ない状況ですが、今回は「街区公園部門」でプランの独創性と表現力を高く評価され、大槪史生さんの作品がランドスケープコンサルタンツ協会賞を受賞されました。

一般の部では、まだまだ応募点数が少ない状況ですが、今回は「街区公園部門」でプランの独創性と表現力を高く評価され、大槪史生さんの作品がランドスケープコンサルタンツ協会賞を受賞されました。

一般の部では、まだまだ応募点数が少ない状況ですが、今回は「街区公園部門」でプランの独創性と表現力を高く評価され、大槪史生さんの作品がランドスケープコンサルタンツ協会賞を受賞されました。

残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

一般の部では、まだまだ応募点数が少ない状況ですが、今回は「街区公園部門」でプランの独創性と表現力を高く評価され、大槪史生さんの作品がランドスケープコンサルタンツ協会賞を受賞されました。

一般の部では、まだまだ応募点数が少ない状況ですが、今回は「街区公園部門」でプランの独創性と表現力を高く評価され、大槪史生さんの作品がランドスケープコンサルタンツ協会賞を受賞されました。

一般の部では、まだまだ応募点数が少ない状況ですが、今回は「街区公園部門」でプランの独創性と表現力を高く評価され、大槪史生さんの作品がランドスケープコンサルタンツ協会賞を受賞されました。

一般の部では、まだまだ応募点数が少ない状況ですが、今回は「街区公園部門」でプランの独創性と表現力を高く評価され、大槪史生さんの作品がランドスケープコンサルタンツ協会賞を受賞されました。

一般の部では、まだまだ応募点数が少ない状況ですが、今回は「街区公園部門」でプランの独創性と表現力を高く評価され、大槪史生さんの作品がランドスケープコンサルタンツ協会賞を受賞されました。



残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

残念な点は、今回も与えられた条件にそぐわない作品が幾つかありました。課題を読み取ることから計画のスタートです。もう一度読み直してみよう。

一般の部では、まだまだ応募点数が少ない状況ですが、今回は「街区公園部門」でプランの独創性と表現力を高く評価され、大槪史生さんの作品がランドスケープコンサルタンツ協会賞を受賞されました。

一般の部では、まだまだ応募点数が少ない状況ですが、今回は「街区公園部門」でプランの独創性と表現力を高く評価され、大槪史生さんの作品がランドスケープコンサルタンツ協会賞を受賞されました。

一般の部では、まだまだ応募点数が少ない状況ですが、今回は「街区公園部門」でプランの独創性と表現力を高く評価され、大槪史生さんの作品がランドスケープコンサルタンツ協会賞を受賞されました。

一般の部では、まだまだ応募点数が少ない状況ですが、今回は「街区公園部門」でプランの独創性と表現力を高く評価され、大槪史生さんの作品がランドスケープコンサルタンツ協会賞を受賞されました。

一般の部では、まだまだ応募点数が少ない状況ですが、今回は「街区公園部門」でプランの独創性と表現力を高く評価され、大槪史生さんの作品がランドスケープコンサルタンツ協会賞を受賞されました。

まだ農業やってますか？ 岐阜県支部からの報告
▲第3回Vポジティブ制・ドリフトとは

2006年5月から、食品衛生法に基づく残留農薬等のポジティブリスト制が施行され、併せてドリフト対策が求められるようになり、ますます農薬の予防除が難しくなりました。

ポジティブ制とは、食品衛生法に基づく残留基準の設定で、①従来の基準値はそのまま使用する②諸外国などに基準値がある場合はそれらを参考に新たな基準値を設定する(暫定基準)③その両者とも当てはまらない場合は、0.01ppmという一定量を基準値として使う(一律基準)ということになります。0.01ppmは一億分の一の希釈倍率です。樹木の消毒で使用する希釈倍率は千分の一ですからいかにこの制度の基準が厳しいか判ると思います。

ドリフト対策は、飛散をさせないためのもので、農薬散布によって霧状の薬剤が周囲に飛散しないように対策を講じる必要があります。

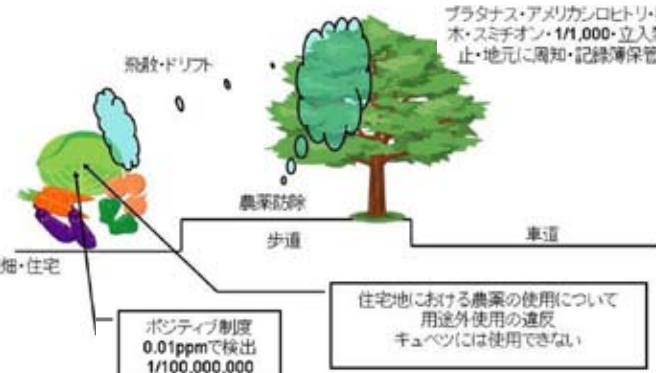


図1 街路樹に農薬防除ができないイメージ
01ppmは1億分の1の濃度で、30cmの水を張った一反の田んぼに農薬のビンのお茶一杯を入れたのと同じ濃度です。こんな薄い濃度のものまで検出して罰する法律がポジティブ制なので

協会活動は業界の夢づくり
宮崎県支部と意見交換会開催

九州総支部

九州総支部の支部長会と宮崎県支部との意見交換会が11月14日、宮崎市で開催され、各県支部長、総支部各委員長、宮崎県支部役員、会員の総勢40名と、本部から五十嵐副会長も出席され開かれました。

先ず、五十嵐副会長の「造園建設業を巡る環境」と題する講話では、明治以降の公園行政と造園業界成長の経緯、環境の世紀の中での



意見交換会のもよう

「緑の産業」の主役としての日造協の使命と今後の可能性について話されました。次の情報提供では、「労働災害総合保険」、「造園積算ソフト」に関する二つの説明の後、藤田総支部技術委員長から「高速道路高架下の緑化施工」と「河川敷地の緑化(芝生化)施工」について事業化の活用事例と、北九州市での街路樹移植工事に樹木医、街路樹剪定士、植栽基盤診断士が共同で関わった事例を挙げ、植栽や移植工事においてこれら認定資格活用を必要とする関係機関に働きかけていくことが重要と述べられた。その中で、7月に福岡で開催されたランドスケープフォーラムで講師の平賀達也氏が話された雨水の効果的な活用手法(LID: low impact development)が、既に福岡都市高速道路高架下や北九州市のモノレール高架下での緑化、校庭芝生化に取り入れられている。今後は環境への負荷の軽減を如何に図るかが課題であるとしたりうで、「ハイテクに勝るローテクあり」と、わが造園業界もまだまだ自分の周辺に「のびしろ」が多くあると語られた。

意見交換会では、制度発足以来3年を経過した指定管理者制度に伴う公園の管理運営に関する問題点と今後の方向、処分(剪定枝等)費用の問題、支部運営と組織維持、会員のメリットにつながる調査研究への要望が出されました。

最後に五十嵐副会長の「環境という我々にとってフォロワーの風が吹いているなかで、その主役となるためには造園技術を更に磨いていくことが不可欠。また、幅広く造園を知ってもらうこと、そのためには戦略を持つて取り組む。全国造園フェスティバルも3年目を経験したが、いろんなアイデアで造園をアピールしていくことが必要だ。指定管理者についてもプロポーザル作成能力のある人材を育てていくこと、他の業種との連携も重要である。これからは会員相互の情報ネットワークの構築も不可欠なので、会員の生の声をたくさん聞かせてほしい」との講評で閉会した。

「グリーンニューデール」とは、直しのために打ち上げたのが、集中的公共投資であり、柱に据えたのが、省エネ分野を第一として、全米の公的施設の冷暖房や照明を、エネルギー効率の高い設備に交換しようとするものであった。それに加えて、太陽光・風力等の自然エネルギーを中心とした環境分野への投資を含め、「グリーンニューデール」政策として、経済再生と雇用創出を図ろうとしているのである。

論説
グリーンニューデールを考えよう

環境分野への投資

1月に、経済危機の元凶となったアメリカに、新しい大統領が就任した。初めての黒人大統領となったバラク・オバマ氏である。新大統領も就任に浮かれていた状況はなく、とくに経済関連の閣僚については、通常の組閣より相当早く人選を進め発表した。そのオバマ新大統領が、アメリカ経済立て

直しのために打ち上げたのが、集中的公共投資であり、柱に据えたのが、省エネ分野を第一として、全米の公的施設の冷暖房や照明を、エネルギー効率の高い設備に交換しようとするものであった。それに加えて、太陽光・風力等の自然エネルギーを中心とした環境分野への投資を含め、「グリーンニューデール」政策として、経済再生と雇用創出を図ろうとしているのである。

早速わが国でも、エネルギー転換や農林漁業再生による日本版「グリーンニューデール」に取り組むとの報道がなされた。

植栽や緑化、植物や緑地に結びついた施策が見られないのが残念であり不満でもある。植物を手段として、地球温暖化やヒートアイランド現象の緩和に向けて、21世紀「環境の世紀」にふさわしい、緑豊かなるおいのある街つ

「グリーンニューデール」にふさわしい、緑の世界からアイデアが求められている。また国連は、昨年10月国連環境計画(UNEP)が、世界のエコノミストやビジネスリーダー等と共に「グリーン経済イニシアチブ」を立ち上げた。こ

れは、今の経済的危機が、グローバル経済の焦点を、環境にやさしい投資へと転換させる好機ととらえ、全ての国のローの風は、さらに強くなつてきうであるし、どんな課題が出てくるか、予測もつかない時代になりつつある。私たちは、企業としての体質、技術力、構想力、プレゼン力、人材等の面で、そのような事態に対処しうる体制作り

に、取り組まねばならない時代を迎えている。「環境の世紀」の主役となり、造園建設業の飛躍的發展を考える時、どうしても越えねばならない「やま」なのである。苦しさの先の楽しみを、どう取りに行くか、夢に終わらせたくない胸突き八丁なのである。

日造協賛助会員の紹介 07

(株)アボック社

公共・民間造園工事の「案内サイン」や「解説板」「植物名ラベル」の専門メーカー。全国5営業所14名のサインディレクターがそれぞれ専属でつき、要望のヒアリングから企画提案・設計・制作・納品までを一貫担当する営業システム。躯体は定番188例のほかオーダーメイドでも提案。注意板から総合サイン計画まで対応。納品実績は全国1万5千件。創業33年、植物名ラベルの開発元・自然史専門出版社でもあり、独自の編集体制と20万点の写真・図譜を保有。これらを盛り込んだ質の高いネイチャーサイン・各国語翻訳を併記したサインも特徴。



サイン・ラベル取扱店募集

事務局の動き

2月

- 3(火)・登録造園基幹技能者特例講習会(北海道)
- 4(水)「広報日造協」編集会議
- 5(木)・運営会議
- 7(土)・第35回全国造園デザインコンクール表彰式
- 12(木)・伝統的造園技能・技術継承講習会(東北総支部)
- 13(金)・大分県支部講演会
- 14(土)・伝統的造園技能・技術継承講習会(中国総支部)
- 18(水)・総務委員会企画部会
- 19(木)・経営研修会
- 20(金)・街路樹剪定士指導員認定研修会(久留米市)・21日委員会
- 24(火)・登録造園基幹技能者講習会
- 25(水)・登録造園基幹技能者制度推進協議会
- 26(木)・総務委員会財務部会
- 27(金)・公益法人移行講習会

3月

- 3(火)・登録造園基幹技能者特例講習会(東京)
- 4(水)・事業委員会公益活動部会
- 5(木)・事業委員会教育研修部会
- 5(木)「広報日造協」編集会議
- 9(月)・AIPHスプリングミーティング(台北)・14日ティンク(台北)
- 10(火)・造園安全衛生管理の手引き改訂委員会
- 11(水)・総務委員会企画部会
- 12(木)・運営会議
- 13(金)・総務委員会財務部会
- 19(木)・総務委員会(全国)
- 26(木)・理事会
- ・造園団体連携特別委員会